

一般社団法人山口県医師会令和元年度第13回理事会

10月3日（木）午後5時～7時31分

河村会長、林・今村両副会長、加藤専務理事、萬・沖中・中村・前川各常任理事、白澤・河村各理事、藤野・篠原・岡田各監事

協議事項

1 令和2年度施策・予算に関する要望について

医療・介護の適切な財源確保、地域医療構想の推進に向けた地域医療介護総合確保基金の充実強化、地域包括ケア構築の実現に向けた取組み、地域保健対策等、救急医療体制等の整備の5項目について要望することを決定し、「医療従事者の確保対策の推進」及び「看護職員等の確保及び養成施設への支援・拡充」を重点項目とすることを決定した。

2 第1回郡市医師会長会議の意見・要望について

郡市医師会から提出のあった1題について協議を行った。

3 医師会組織強化に向けた取り組み等について

本会の組織率の向上に向けた課題及び具体的な取り組み等に係る日本医師会からのアンケートに対する回答を決定した。

4 地域医療構想に関する具体的対応方針の再検証の要請等について

郡市医師会長会議における説明の内容及び基調について打合せを行った。

5 山口県医師会産業医部会規則の一部改正について

厚狭郡医師会と小野田医師会の合併に伴う支部名の変更等を内容とする一部改正を行った。

6 令和元年度学校保健連合会表彰について

山口県学校保健連合会長から標記被表彰候補者1名の推薦依頼があり、2郡市

医師会から推薦があった候補者について協議し、1 名を候補者として推薦することを決定した。

人事事項

1 産業医部会の役員について

厚狭郡医師会と小野田医師会の合併及び役員の退任に伴い、佐々木映子 山口支部長を副部会長兼監事に、中根比呂志 小野田支部長を理事とすることを決定した。

報告事項

1 都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会（9 月 19 日）

（1）ORCA プロジェクトの今後、（2）医師資格証の今後、（3）次世代医療基盤法への対応、（4）医療 IT 委員会の検討経過、（5）オンライン資格確認等に関する報告・説明があり、その後、質疑応答を行った。（中村）

2 特別支援学校における医療的ケア運営協議会（9 月 19 日）

山口県教育庁から本県の特別支援学校における医療的ケアの現状、学校における医療的ケア実施体制構築事業の取組状況等について報告がされた後、人工呼吸器の使用等の高度な医療的ケアに対応するための実施マニュアルの作成について協議を行った。（河村）

3 労災診療費算定実務研修会（9 月 19 日）

開会行事に出席し、挨拶をした。（萬）

4 有床診療所部会第 2 回役員会・総会（9 月 19 日）

役員会では、総会の議事進行についての協議及び第 32 回全国有床診療所連絡協議会「群馬大会」の報告を行った。また、総会では、平成 30 年度事業報告及び令和元年度事業計画（案）について審議した。（前川）

5 医事案件調査専門委員会（9月19日）

病院2件の事案について審議を行った。（林）

6 地域医療構想調整会議・検討部会「下関」（9月20日）

全体会議「山口・防府」（9月26日）

「下関」においては、回復期・慢性期専門部会が開催され、今年度の主な協議事項の説明が県から行われた後、医療機関ごとの対応方針の協議等が行われた。

「山口・防府」の全体会議においては、医療機関ごとの対応方針の協議のほか、公的医療機関等の機能の再検証の要請に係る情報提供、意見交換が行われた。

（前川）

7 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会（9月25日）

日本医師会小児在宅ケア検討委員会の検討状況、医療的ケア児に関する行政の施策等の説明の後、都道府県医師会による取組事例の紹介が行われた。

（前川）

8 中国地方社会保険医療協議会山口部会（9月25日）

医科、歯科及び薬局のいずれも指定案件なしであった。（河村会長）

9 日本医師会 医業の第三者承継フォーラム「TV会議」（9月26日）

日本医師会で開催された標記フォーラムに、本会会議室においてテレビ会議により参加した。医業の承継に係る厚生労働省、都道府県医師会及び日医総研の取組の紹介及び質疑応答が行われた。（沖中、河村）

10 山口産業保健総合支援センター地域窓口全体会議（9月26日）

平成30年度事業結果、第4期中期目標・中期計画、令和元年度事業実施計画及び進捗状況の報告の後、活動報告書の添付書類に係る注意事項、石綿関連疾患診断技術研修の開催等の諸連絡が行われた。（中村）

11 第2回健康教育委員会（9月26日）

今年度の健康教育テキストの素案について協議・修正を行い、来年度のテキストのテーマについて協議を行った。（河村）

12 看護学校課題対策検討会（9月26日）

7月27・28日に開催された中四九地区医師会看護学校協議会の報告の後、医師会立看護学校の統廃合について意見交換を行った。（沖中）

13 勤務医部会第2回企画委員会（9月26日）

郡市医師会勤務医理事との懇談会の打合せの後、今年度事業の詳細について協議を行い、部会主催のシンポジウムは「再生医療と倫理について」、座談会のテーマは「医師の働き方改革」とすること等を決定した。（中村）

14 第2回山口県糖尿病対策推進委員会（9月26日）

今年度事業の進捗状況、実施予定を確認後、「世界糖尿病デー」ブルーライトアップイベントの企画、糖尿病性腎症重症化予防プログラム、糖尿病性腎症重症化予防モデル事業等について協議を行った。（前川）

15 中国四国医師会連合常任委員会（9月28日）

ブロック選出の日本医師会役員からの中央情勢報告、平成30年度事業・会計報告の後、中国四国医師会連合連絡会のあり方、分科会・総会の運営、中国四国医師会連合勤務医委員会、中国四国医師会連合医事紛争研究会及び令和元年度中国四国医師会事務局長会議の開催、次期開催県等について協議を行った。

（加藤）

16 中国四国医師会連合分科会・総会（9月28・29日）

第1分科会：医療保険・産業保健では、診療所に対する生活保護法による指定医療機関個別指導、漢方薬の多剤投与等の10議題9提言、第2分科会：地域包括ケアシステムでは、多職種連携システムの導入、認知症サポート医の活動

等の 10 議題 8 提言、第 3 分科会：地域医療・地域保健では、医師会立看護職員養成施設の状況、医療過疎地の病院での医師・看護師確保等の 7 議題 7 提言について意見交換を行った。

総会では、中国四国医師会連合の平成 30 年度事業・会計報告及び令和 2 年度は鳥取県担当で開催することが承認された。（加藤、萬、沖中、前川）

17 中国四国医師会連合勤務医委員会（9 月 28 日）

標記委員会については、来年度以降、中国四国医師会連合分科会の当日に、分科会の開催前に開催することを決定した。また、標記委員会の委員長として、岡山県医師会の清水信義 副会長を選出した。（中村）

18 郡市医師会勤務医理事との懇談会（10 月 1 日）

郡市医師会勤務医部会の設置について、理事就任の経緯や担当業務等に係る事前アンケートの結果及び県医師会に対する医師確保、医事紛争等に係る意見・要望について意見交換を行った。（中村）

19 広報委員会（10 月 3 日）

会報主要記事掲載予定（11・12・1 月号）、炉辺談話、県民公開講座、歳末放談会等について協議した。その後、第 10 回フォトコンテストの審査会を行い、139 作品の応募の中から 8 作品を表彰することを決定した。（今村）

20 会員の入退会異動

入会 17 件、退会 6 件、異動 5 件。（10 月 1 日現在会員数：1 号 1,259 名、2 号 871 名、3 号 471 名、合計 2,601 名）

医師国保理事会 第 10 回

1 全国医師国民健康保険組合連合会代表者会について（9 月 21 日）

岐阜県医師国保組合の担当で岐阜市において開催。平成 30 年度事業及び決算報告、役員の選任等について協議、承認された。また、消費税は導入時の目的

どおり社会保障充実のために使うこと等を採択し要望することを決定した。

(河村理事長)

2 全国医師国民健康保険組合連合会第 57 回全体協議会について（9 月 21 日）

代表者会の報告及び「国保問題検討委員会諮問答申」（全医連国保問題検討委員会 篠原 彰 委員長）、「簀内佐斗司の作品とその世界」（東京藝術大学大学院保存修復研究室 簀内佐斗司 教授）の講演が行われた。（沖中）